

ASIRU -アシル-

令和6年7月30日発行 第12号



令和6年度第1回釧路管内地域いじめ問題等対策連絡協議会

令和6年6月26日(水)に、令和6年度第1回釧路管内地域いじめ問題等対策連絡協議会を実施しました。本協議会は、管内の各種関係機関が連携し、いじめ・不登校等の現状や今後の取組について意見交換及び協議等を通して、各市町村教育委員会及び各学校等におけるいじめ・不登校等の未然防止や解決の方策の充実を図ることを目的としています。

釧路教育局からの説明

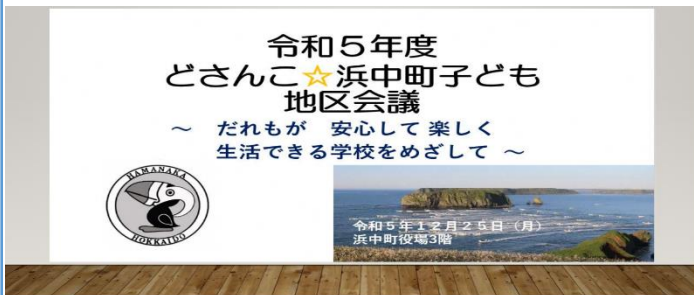
北海道及び釧路管内におけるいじめ、不登校等の現状及び道教委の取組、令和6年度の釧路管内の取組の重点等について説明を行いました。本連絡協議会を受け、今年度も9～10月に「釧路管内いじめ・不登校等未然防止強調月間」を設定します。

日常的に全ての児童生徒を対象とした積極的な認知、常態的・先行的な発達支持的生徒指導となるよう「いじめ見逃しゼロ」の視点を大切に、各学校等において共通理解を図っていただくようお願いいたします。

実践発表①

「児童生徒自らがいじめの防止に取り組む活動の推進」

いじめ問題に対する児童生徒の主体的な取組の推進を目的に、「どさんこ浜中町子ども地区会議」を開催し、協議を通じた、「いじめはしない、させない、許さない」意識の醸成について発表をいただきました。



【浜中町教育委員会 寺田順指導室長】

実践発表②

「適切なアセスメントによる早期支援とICTを活用した効果的な支援」

不登校の問題に係る課題を踏まえた町教育委員会の取組として、小中連携による組織的な取組、アセスメントツールの活用及び校内教育支援ルームと町内教育支援センターの設置について発表をいただきました。

学校の未然防止の取組

(1) 小中連携を図った組織的な取組

① 未然防止検討委員会 (年5回)

② 高学年中学校1日登校 (年8回)



③ コミスク学校運営協議会

【厚岸町教育委員会 藏光貴弘指導室長】

【協議】「本年度の重点を踏まえた取組について (各委員から)」

- 多くの高等学校での課題として、SNSによる見えないいじめがあり、学校が状況を把握しきれない現状である。各学校がいじめ防止に係る取組を進めるとともに、SNSによるいじめがあった場合、どのように解決を図るかについて、さらに検討を進める必要がある。
- 不登校対応においては、各教育委員会が児童生徒の居場所を広げる取組を行っており、例えば、教育支援ルームや教育支援センターなどを実施している。
- いじめや不登校に対する早期支援やアセスメントについては、生徒の日常の観察やアセスメントツールから、いじめの予兆などを捉えて早期発見に努めている。また校務支援システムを活用し、教職員が児童生徒の生活上や学習上のよさを記入する時間を設定するなど、児童生徒の姿を複数の目で具体的に見るように努めている学校もある。
- 小学校、中学校ともに、誰にも相談できない児童生徒がいるということを念頭に置き、児童生徒を見取っていくことが大切であることを、職員間で共有して対応していきたい。

令和7年2月5日(水)実施予定の第2回本協議会では、釧路管内の取組の重点を踏まえ、9月～10月に実施する「釧路管内いじめ・不登校等未然防止強調月間」における各学校、各教育委員会及び各関係機関の取組状況等について協議を行うとともに、重点項目の①「いじめの積極的な認知と「いじめ見逃しゼロ」の徹底」及び④「「SOSの出し方に関する教育」を含む自殺予防教育の充実」についての実践発表を行う予定です。道教委では、令和5年3月改定に改訂しました「北海道いじめ防止基本方針」を踏まえいじめ防止対策等が着実に推進されるよう「北海道いじめの防止等に向けた取組プラン」を見直し、新たな行動計画として策定しています。また、令和6年3月に「不登校により学びや支援にアクセスできない子どもたちをゼロ」にすることを柱とした「HOKKAIDO不登校対策プラン」を策定しました。道教委と市町村教育委員会、学校が一層連携し家庭、地域社会、関係機関等とともに、できる取組から速やかに推進していただきますようお願いいたします。